

実質化された人・農地プラン

注:本様式は参考ですので、地域の話合いの結果に応じて、積極的に記載する項目を追加してください。

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
宇部市	吉部地区(今小野、荒滝、犬ヶ迫、鍋倉、大畑、砂香、市、伊佐地、柏村、大棚、黒川、上市、宮の馬場、広河原、山中、小河内、大河内、黒五郎、藤ヶ瀬、長谷)	令和4年3月30日	—

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	208.37ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	123.62ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	73.05ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	47.55ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	1.34ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計 (備考)	16.9ha

2 対象地区の課題

農業者の高齢化・資材等の高騰・米価の下落により、離農または規模縮小を意識されている農業者が多い(アンケート結果によると約半数の方が離農または規模縮小の意向あり)。今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積よりも、70才以上で後継者未定の農業者の耕作面積の方が、30.65ha多く、今後に向けて新たな農地の受け手の確保が必要。現在の中心経営体である4農家のみでカバーすることは難しい。
また、2～30年前に圃場整備を行った農地について、代変わりによる離農等の影響もあり荒廃化が進んでいる。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

集落内での農地利用について、中心経営体である担い手や法人が担うほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れについて、地元への理解を周知しながら促進することにより対応していく。

集約を行っていく上で農地の荒廃化は大きな阻害要因となってくるため、圃場管理等は各農家に継続して行っていただく。

水利関係の決まり等について不明確な部分が多いとの意見もあるため、今後集約化を進めるにあたり、水利関係について各地域で決まり等を明確化していく。